

高知国際高校の DP コースが始まって1か月が過ぎました

DP コース1期生が学ぶ国際バカロレアの「ディプロマプログラム」が11月に始まりました。2年後の高校3年次の9月から11月にかけて行われる最終試験で一定の成績を収めることで、フルディプロマと呼ばれる国際バカロレア資格を取得することができます。

その目標に向けて、現在 DP コース 21 名が仲間同士で助け合いながら授業を進めています。DP コースの授業では、事前に家庭で勉強してきたことを、授業で発表や説明をしたり、議論を重ねたりします。大学のゼミのようなイメージでしょうか、教員がと言うよりは生徒自身が授業を作り上げて学習しています。授業以外の時間に終わらせておかなければいけない課題も多く、たいへん忙しい毎日ですが、友達同士で励ましあって学校生活を送っています。

□ 授業の様子



DP 化学 SL (21名全員履修)

個人がどう課題にアプローチするかが違うため、一斉に同じ実験をするのではなく、一人一人がばらばらに異なった活動をしています。



DP Math AA HL (5名)

Students learn Mathematics in English. In this class they consider how to show that the enclosed area is $A = x(40-2x)m^2$.



TOK (21名全員+探究コース13名履修)

「個人的な知識と共有された知識の違い」や「歴史的な技術発展が知識と知ることとに及ぼした影響」などについて、発表・議論を行っています。



DP 歴史 HL (3名)

第一次世界大戦の前後の時期に、日本がどのように各国から見られていたかについて、図書室で文献を調査し情報共有を行いました。

□ CAS（キャス）が始まりました

12月6日（月）にDP生徒21名にCASコーディネーターよりオリエンテーションが行われました。これから18か月に渡って活動を行っていきます。

Creativity (創造性)	創造的な活動 アイデアを探究しそれを広げることで、独創性や自分の解釈に基づいた作品やパフォーマンスを創造すること
Activity (活動)	身体的な活動 健康的なライフスタイルに寄与する身体的な活動を実践すること
Service (奉仕)	奉仕的な活動 コミュニティの真のニーズに対応するために他者と共に活動を行い、かつ相互扶助の取り組みに従事すること

CASの要件

- 18か月継続して活動する(定期的に、理想的には週1回のペースで)
- 「C:創造性」と「A:活動」と「S:奉仕」をどれか一つ以上に関わる活動をバランスよく実践する
- CASの段階表(調査、準備、行動、振り返り、実証)を記録しまとめていく
- 「7つの学びの成果」(右表)を達成し、その証拠をCASポートフォリオに示す
- 最低1か月にわたる「CASプロジェクト」に取り組む
- CASコーディネーターまたはCASアドバイザーと計3回の正式な面談を行う

1	自分の長所と成長すべき点を認識する
2	課題に挑戦し、その過程で新しいスキルを習得している
3	自らCASを計画し開始することができる
4	CAS活動を継続し、やり遂げる粘り強さを示す
5	自らのスキルを活かし、また他者と共に活動する意義を認識する
6	グローバルな課題に取り組む
7	選択と行動の倫理を認識し、考察する

CASの7つの学びの成果

□ 今後の予定

高校1年生の終わり2月に学年末試験があります。DPコースでは、テストはその期間だけではありません。科目によっては日頃の授業でもテスト(総括的評価課題)を実施します。

DPコースの成績目標は7段階で、最低4以上を目指しています。これは、世界共通の最終試験で45点満点中24点以上、そして科目ごとの詳細要件をクリアするための最低条件です。

また、国内大学で推薦入試などを視野に入れている人は、5段階の文部科学省の示す観点による成績(通常の高校生がうける5段階評定)にも、注意が必要です。この成績は高校1年生の年度末で確定されます。

高校2年生になれば、DPコース生のうち、いわゆる文系を選んでいる生徒16名は、芸術科目としてDP音楽またはDP美術が始まります。さらに、DP生全員が取り組むEE(Extended Essay:課題論文)も本格的に執筆が始まります。EEは授業時間内ではなく、放課後や休日などに各自で取り組みます。